

# かしわ



No. 7 令和元年9月6日 8月の幼稚部下校風景

## 夏の思い出、中国地方への旅行

楽しかった夏休みが終わり、早いもので一週間が経ちました。子どもたちの生活のリズムも「学校生活バージョン」に戻ってきています。

この「かしわ」7号では、先生方の夏休みについて紹介します。

先生方の体験話が子どもたちの日本語の語彙や表現の広がりにつながっていくことでしょう。

### 私の夏休み

小学部 荒川 絃行

8月の中頃、家族3人で横浜アリーナで行われた「ディズニーオンアイス」の鑑賞に行きました。

横浜アリーナは、主にコンサートやスポーツ等で使われ、1万7千人の観客席があるととても大きなホールです。横浜市に住むのは10年目になりますが、横浜アリーナに行くのは初めてでした。

「横浜アリーナはどんな所だろう？こんな暑いのにスケートはできるの？」と楽しみと疑問の気持ちを抱きながら会場に入ると・・・ホールの真ん中に大きなスケートリンクがあり、そこにはお城や森林などの見事なセットが。ディズニーの様々なキャラクターが氷上を滑りながらの演技がとても新鮮で最後まで目を離せませんでした。



3歳になったばかりの娘も大喜びで、座ってられず、踊ったり、手を振ったりしていました。この子が大きくなったら、どこかのコンサートで黄色い声を出しながら、追っかけをしたりするのだろうか…と少しは父親らしい？心配をするようになったのかなと感じた真夏の1日でした。

小学部 白取 稔

20歳の冬一人で、鳥取、島根、岡山に夜行列車に乗って旅しました。大学の部活動の同期の倉吉市出身者の家と寮の同部屋の上級生の津山市出身者の家に泊めてもらいました。その時、鳥取砂丘と出雲大社を観光したはずなのに、何も記憶に残っていません。

この夏、同じ場所に7年ぶり再び訪れました。

バスガイドさんの話が巧みだったこともありませんが、鳥取砂丘と出雲大社とも、今度は強烈な印象が心に残りました。

鳥取砂丘は、馬の背の麓から馬の背を見上げたスケールの大きさに圧倒され感動しました。

出雲大社は、二つ目の勢溜の鳥居から出雲駅方向を見た市街地の景色にほっとするのどかさを感じました。また二の鳥居から本殿に向かって続く松並木の下りの参道に、とても厳かさを感じました。

また機会があったら訪れたいと思いました。



二の鳥居から出雲駅方向を見た景色

### 私の夏休み

小学部 井上 敦子

8月に沖縄に行ってきました。沖縄海洋博公園の美ら海水族館や海中道路、世界遺産の今帰仁城や首里城、沖縄県立博物館のジブリの展覧会等、レンタカーを借りて島内観光をしてきました。

巨大なジンベイザメやイルカショー、透明度の高い海やサゴヤのかけらが堆積してできたビーチ等の美しい景色や約500年の歴史がある荘厳な世界遺産

チャンプルーやイチー、ソーキそばなどの沖縄料理、そして大好きなアイスcreamも堪能しました。日常とは違った時間を過ごし、久しぶりの家族旅行を楽しんできました。

この夏休みは、いくつかの研修に参加して勉強したり、運動不足だった体を動かしたり、片付けをしたり……。まだまだやり残してしまった事がたくさんありますが、夏休みの経験をバナーにして、また頑張りたいと思います。

## 私の夏休み

高等部 富山 馨太

ろう学校に来て二回目の夏休み。私は昨年度に引き続き、東京にある大学の学習講座に約二週間行っていました。

住んでいる所が駅の近くではない上に、大学の場所も茗荷谷という遠い場所なので、毎日往復約4時間バスと電車に体を揺らされて通学したのは、かなり辛かったです。大学生時代はなんともありませんでしたが、今は肩や腰が痛くなるので、年を取ったのを悪い意味で実感しました。

講座自体は、聾に関する知識を更に知ることができ、充実した講座を受けることができました。

残った夏休みは、家でのんびりと糖質制限ダイエットをして過ごしました。ほぼ野菜だけ食べる草食動物状態でしたが、体重が3kgほど落ちたので成果はありました。また増えることのないようにしたいですね。

## 私の夏休み

小学部 小岩 やよい

子どものころの夏休みの思い出は、毎年山口県の萩市という母の実家で過ごしたことです。祖母の家は海の近くなので磯のおいがして、家の前がてんぷらやだだったので、毎朝揚げたてのてんぷらがたべられました。萩のいとこたちは7月にはすでに真っ黒に日焼けしていて、私たちも毎日海で遊んで、8月の終わりには、真っ

黒になっていました。でもお盆を過ぎると、絶対海に入ってはいけないといわれ海で遊べなくなると、夏休みも終わるのかと何となくもの悲しさを感じ始め、「夏休みのとも」に記入しなければならない毎日の天気を思い出しながら宿題をしていました。

今年の夏休みはというと、エアコンの部屋で本を読んでいた。正確には、読もうと10冊借りてきました。読まずに返すことになりそうな本もありますが、衝撃的な本もあり、せっかくの夏休みが、一時暗い気持ちになったりしたので、最後にスマホレビューをして気分を上げておきました。

## 私の夏休み

小学部 宮井 孝典

今年の3月、8年前に大きな被害に見舞われた石巻の大川小学校を訪れた。ちょうど11日で、大川小学校でも法要が営まれていた。この日は土砂降りの雨。その中に多くの遺族や関係者がいるという状況で、大川小学校についていろいろ知りたいと思っていたことは進められなかった。日が経つうちに「大川小学校について知りたい」という思いは強くなっていった。そしてこの夏休みに友人を誘って再度大川小学校を訪れた。

3月の時には近づけなかった校舎を見た。グラウンドも裏山も子どもたちが津波にのみこまれたという場所も見えた。これまで講演会で聞いた話やネットで読んだ多くの人の意見が思い浮かんでくる。震災発生時、大川小学校の校長は不在、これからの行動が定まらないまま子どもたちは校庭に約50分間待機させられたという。「なんで・どうして」という思いと同時に「学校ではこういう状況に陥ることもあるだろう」とも思った。100名の命に関わる意見を述べる責任の重さ。校長不在。決定の難しさを感じる。学校はこういう時の力をつけなくてはいけないと思う。考えを出し合い、短時間で方向を決める力。普段の活動の繰り返しの中で培っていかなければいけない……こんなことを時々考える夏休みだった。